



第9回千葉スクラムユニオン定期大会開催

7月29日（土）午後3時から、国労千葉地本事務所において、第9回千葉スクラムユニオン定期大会が開催されました。

開催される会場は、恒例の国労千葉地本のご厚意でお借りをしてきました。

開催時の参加者は20名で、9の党・労組・団体が参加となりました。

開会は、午後3時00分から司会の米良氏が開会のあいさつを行いました。議長には石垣氏を選出。

故・大嶋委員長の黙祷

大嶋委員長が、昨年11月20日、自宅にて急性心不全で逝去されました。委員長代行には江尻副委員長をお願いし、大会後は江尻しに委員長とする役員体制を提案することになっています。江尻氏から連絡があり、心臓細動のカテーテル手術を7月27日に行い手術は成功したのですが、病院から自宅での安静を3日間必要と指示をうかこととで、今大会に欠席となりました。

石垣議長から、故・大嶋委員長の黙祷を参加者全員で行いました。

その後、来賓あいさつを時間の関係もあり、新社会党（秋葉県本部委員長）、全労協（金澤議長）、千葉県共闘会議（堀川議長）、国労千葉地本（安田副委員長）、千葉水道労組（久木委員長）を受け、大会議事に入りました。

16年度経過報告（小柳書記長）、決算報告（金井会計）、決算監査報告（代行・金井会計）、運動方針（小柳書記長）、予算報告（金

井会計）、役員（案）提案（松田副委員長）を一括討議し、全組合員の下承を得ました。

石垣議長解任後、閉会のあいさつを米良氏が行い、松田副委員長の団結ガンバローを三唱し、懇親会に移りました。

懇親会には、①中原のり子（翼さん労災認定を求める支援者の会代表）、憲法を活かす会千葉県協議会（上野建一）、お互いさまユニオン（松本副委員長）、郵政労働者ユニオン（安田千葉支部長）、ユニオン市原（太田

書記長）、N関労千葉支部長（和田書記長）などの挨拶をうけ懇親しました。

中央最賃審議会

平均25円・時間の引上げ答申！

「貧困」からの脱出には

1500円・時間が必要！

（参考）各都道府県に適用される目安のランク

ラ	都道府県
A	千葉、東京、神奈川、愛知、大阪
B	茨城、栃木、埼玉、富山、長野、静岡、三重、滋賀、京都、兵庫、広島
C	北海道、宮城、群馬、新潟、石川、福井、山梨、岐阜、奈良、和歌山、岡山、山口、香川、福岡
D	青森、岩手、秋田、山形、福島、鳥取、島根、徳島、愛媛、高知、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

7月25日、中央最低賃金審議会（厚労相の諮問機関）の小委員会は2017年度の引き上げ幅の目安を全国平均25円とすること

を決めた。(3%相当の引き上げ)

東京などAランクは26円、Bランクは25円、Cランクは24円、青森、福島など東北地方と九州・沖縄地方はDランクで22円とされている。これは政府が景気好循環のために、3%程度の引き上げを求めたものに沿った決定とされる。今後各地方の最賃審議会に於いて協議され、予定では10月から新たな最低賃金として各都道府県で施行され、最賃を下回って労働させると労働法違反として罰則の対象となる。



ところで全国平均848円ではどのような生活が可能なのか。フルタイムとして年1800時間を働いても152万6400円にすぎない。この最賃で月々12~3万円で生活を維持しなければならず、ダブル・トリプルの仕事を掛け持ちしなければ、人並みの生活をすることもできない。自分のための時間や家族との団らんは無く、長時間労働で健康をむしばむことになる。

非正規労働者は40%を超え、家計を支える労働者が最低賃金に幾ばくかの上乗せされた賃金で働くことが拡大している。絶対に必要な賃金引き上げが求められており、労働者として最低賃金の引き上げは死活問題となっている。

大都市と地方・・・広がる格差縮小のため、全国一律こそ必要!

大都市と地方の格差を固定化し拡大している。最高額の東京では26円アップで932円となり、最低の沖縄では22円しか引き上げられず、736円になる。その差額は222円と現状の格差(東京958円ー沖縄736円で差額は222円)から更に拡大することになる。こうした値域格差は益々、東京など大都市に労働者を集中させ、地方を疲弊させる。



**全国一律で最賃1,500円が必要。
今すぐ1,000円に向けて地方審議会へ
要請を強めていこう!!**

私たちは時給1500円の最低賃金の実現を求めて闘ってきました。1,500円が今すぐには困難であれば、1,000円への引き上げが求められています。政府には労働者が健康で文化的な生活を送ることを保障する義務があります。

今後各地方の最低賃金審議会に於いて議論が行われます。審議会の全国公開を求めると共に、意見等の提出や陳述を求めていきましょう。また、秋闘などで職場の最賃協定の獲得に全力をあげよう。

地区労とユニオン連絡会

地区労とユニオン連絡会は、昨年と同様に、千葉県労働局に要求項目を提出し、7月31日の午後3時からには習志野地区労や千葉スクラムユニオン、ユニオン市原など9人が参加。千葉県労働局との交渉を行いました。中央最賃審議会が全国平均25円・時間の引き上げを答申しましたが、私たちは全国一律の最賃1,500円が必要として千葉労働局の申し入れ書では「最低賃金を要請したいと考えています。また、審議の全面公1500円・1時間への大幅引き上げを要求しました。

申込内容

- ① 最低賃金法の3原則について今年の状況を示すこと。②最低賃金1500円について、③働き方改革について④労契法について。

陳述時間は1時間と限られていますが、これからも千葉労働局への陳述を求めて行きたいと思っています。